

初代キャリングアンプの話

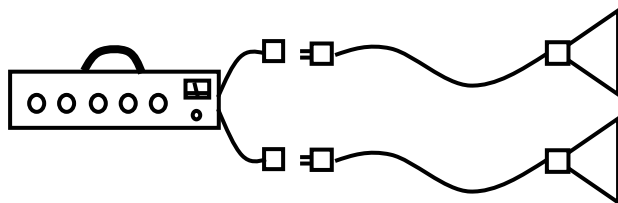
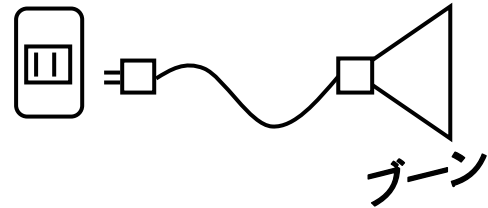


CGA-200D

鞆の取手が付いたアンプ

現在も当社の基幹商品となっているキャリングアンプですが、初代の製品は今から30年位前に開発されました。その当時の話を知る方も少なくなってきましたが、現在の商品に繋がる話として今回ご紹介させて頂きたいと思えます。当時、まだキャリングアンプはありませんでしたので代わりに卓上アンプのケースに鞆用の取手を取り付けられていました。イベント用としてアンプの設置と撤収に時間をかけることができず、素早く簡単に持ち運び、簡単に設営ができるようにとのアイデアから、そうしていたそうです。スピーカーも当時はトランペット形のもので、木箱に収納して運んでいました。スピーカーコードの先にはACプラグ、アンプには受け側のACコンセントの中継用がぶら下がっています。それを接続することでスピーカー結線にドライバーなどの工具が不要になりました。ACコンセントというのは今でも良く見かける家庭用電気器具の電源用コンセントのことです。図にするとこんな感じです。

トランス付スピーカーをコンセントに繋ぐと



ちょっと話がそれますが本当にあった話です。図のようにスピーカーにはACプラグが付いています。何も知らない人から見ると、そのまま家庭の電源コンセントに繋いで音が出ると思われる人が結構いたようです。ご承知の通り、家庭のコンセントには100Vという電圧が流れています。ローインピーダンス(4Ω~16Ω)のスピーカーであれば即刻破壊してしまいますが、ハイインピーダンスは別名100Vラインと呼ばれる通り、このままACコンセントに繋ぐと関西では60Hz、関東では50Hzという電源の周波数(ブーン)という音が出てきます。当然音楽やマイクの声は出てくるはずもありません。今更ですが、危険ですのでやめましょう。

これがキャリングアンプ誕生のキッカケでした。そうこうするうちに、アタッシュケースにカセットデッキを入れたアンプを作るメーカーが出てきましたが、出力はそれほど大きくありませんでした。当社でもその時、卓上アンプとしてCPAシリーズというユニットアンプが発売されました(現在はBXシリーズになりました)。カセットやラジオ、ワイヤレスチューナーが内蔵できる卓上アンプです。それを見たお客さまからこのアンプをケースに入れて持ち運びできるものを特注で作れないかと言われ、サービスバック(アルミケース)にこのアンプとミキサーMX-12(MX-192の前身)を固定し、空いたスペースに緩衝材を貼り付けたことがあります。何台かはこんな特注品を手作りで納品させて頂き、続けて製品として完成させ、初代キャリングアンプが誕生しました。キャリングアンプはイベント用アンプとして開発され、トランペット形スピーカーやワイドレンジスピーカーと組み合わせて手軽に持ち運びができる放送設備とし重宝されました。その後幾度かのマイナーチェンジを受け、現在のシリーズでは文教関係でも使ってもらえるようパワー、音質ともアップし、更にCDやSDなども装備しました。最新の製品ではデジタル方式のアンプを採用し、小型で大出力も実現しました。キャリングアンプというよりはコンパクトなオールインワンPAシステムと言えるような仕様に成長しました。

製品版、初代キャンリングアンプ

製品となった初代のキャンリングアンプをご紹介します。写真は昭和56年の3月に発行されたカタログです。定格出力は30Wです。入出力関係は初代モデルからキャノンコネクターを使い、開発コンセプトとして高級感、プロ仕様を意識しました。コードマイクは2本、スピーカー出力はハイインピーダンス2系統ですが、それぞれにアッテネーターが付いているという当時としては画期的で便利な機能でした。また電源もAC-100V以外にDC-12Vで動作させることができ、カーバッテリーでも動作させることができました。実際、選挙では事務所開きで使った後に選挙カーに載せ、車載用として使った事がありました。オプション機器をユニットで装着する考え方はこの頃からあり、今では見る事ができない8トラックテープのプレーヤー（昔のカラオケに使っていた）、カセットプレーヤー、そしてワイヤレスチューナーユニットが掲載されています。ワイヤレス機器は当時40MHzでした。その後、一時的に200MHzの機材が販売されましたが、現在の300MHzと800MHzがワイヤレスマイクに使用できる周波数として認可されました。

当時CGAとセットして販売されていたスピーカーはソノコラムスピーカーでした。サイズも大きくスタンドに取り付けるのにも手間がかかりましたが、トランペット型より音質が良く、好評を頂いていました。

以上、初代キャンリングアンプの話でした。

ユニペックス キャンリングPAアンプ

CGA-152 新登場

¥117,000

定格出力 **30W**
CARRING AMPLIFIER

CGA-152は必要箇所へ手軽に運べる行動派PAアンプ。3種類のユニットの中から必要なユニットだけを選んで、ボディイン。ジャストシステムアンプも片手で持てる、トランク1個でOK。



昭和56年3月現在